

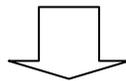
ヒアリング対象課題の選定の考え方

【前提条件】

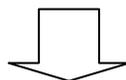
- 50件（ソフト25件、ハード25件）の応募
- ヒアリング対象件数（＝一次審査による絞り込み件数）（想定）
 - ・ 採択予定件数（4～6件程度）の2～3倍（8～18件）程度を目標

【一次審査】

- 行政（道路局）及び研究所（国総研）による評価
 - ・ 5段階で評価（最高点100点、最低点20点）
 - ・ それぞれ評価できる点、課題等を記入



- ヒアリング対象とする課題について、以下の観点から整理
行政ニーズや研究意義の観点から、創造性（新規性・先導性）、実現性（社会的意義・実効性）が高く、かつ研究体制（実施体制・費用の効率性）に特段の問題が無いと判断できるもの。



- 16件（ソフト8件、ハード8件）をヒアリング対象課題（案）として選定